サンフランシスコ校（幼小部・中高部）・サンノゼ校（幼小部・中高部）

カリフォルニアの風

第８号 令和７年11月20日 発行
サンフランシスコ日本語補習校
校　長　　相　澤　　順

個別面談・授業参観へのご協力ありがとうございました

４校あわせて約１か月半にわたり実施いたしました、保護者の皆様と学級担任との個別面談が、１１月１５日をもってすべて終了しました。お忙しい中お時間をいただき誠にありがとうございました。お子様の学習状況や学校での様子を共有し、今後の学びにつなげる大変貴重な機会となりました。

また、校舎によっては授業参観も同時に実施しました。授業後のアンケートでは、多くの温かいご意見・ご感想をいただきました。励ましのお言葉は教職員の大きな力となっています。一方で、現状に満足せず、今後も「わかる授業」「日本語で学ぶ楽しさが実感できる授業」をめざし、引き続き取り組んでまいります。

「土曜日が‘成長の一日’となるように」

毎週土曜日の授業日には、校長と２名の教頭が４校を手分けして回り、子どもたちや教職員の様子を一日かけて見ています。全校朝会が行われる際には、できるだけ校長または教頭から子どもたちに直接話をするようにしています。１、２か月ぶりの訪問となることもありますが、短い時間の中で少しでも子どもたちの心に届くようにと願いながら、話の内容を考えています。

１１月１５日には中高部サンノゼ校で、次のようなお話をしました。

「私は、土曜日にここでみなさんに会えることを、とても楽しみにしています。火曜日から金曜日までは、サンフランシスコのダウンタウンにある事務所で、4つの学校の計画を立てたり、行事の準備をしたり、みなさんが気持ちよく学べるように、さまざまなことを整えています。

そして、土曜日に学校へ来てみなさんの顔を見ると、心がふっと明るくなります。『今日も来てくれた』『頑張ろうとしている』という姿に、私のほうが元気をもらっています。

授業を見ていると、疲れている様子や、思わず英語が出てしまう場面もあります。現地校の勉強や課外活動と両立しながら、さらに日本語で学び続けることは、決して簡単なことではありません。そうした中で、土曜日にここへ来て学んでいること自体が、本当にすばらしいことだと感じています。

せっかくの週に一度の日本語で学べる時間です。『聞いてみよう』『やってみよう』という小さな気持ちを大切にしてほしいと思います。そうした一歩が確かな自分の力になっていきます。また、日本語の力も、考える力も、人と向き合う力も、ゆっくりでも確かに育っていきます。

土曜日が、私にとっては『みなさんに会える日』であり、みなさんにとっても『昨日より少し成長できる日』になったらうれしく思います。今週も、学びのある良い一日となりますように。」（１１月１日、中高部サンフランシスコ校でも同様の話をしました。）

毎週土曜日には、それぞれの事情や気持ちを抱えながら登校してくる子どもたちも少なくありません。補習校で学ぶことの意味や、ここで過ごす時間に込められた気持ちも、一人ひとり違います。

私たち教職員は、これからもそうした一人ひとりの努力と心に寄り添いながら、安心して学べる環境づくりと丁寧な指導・支援に努めてまいります。

【１１/１５ 全校朝会より。右前の生徒たちは司会進行する生徒会役員の面々：中高SJ】

笑顔あふれるひとときに‥　「駄菓子フェス」開催：中高SJ校

　保護者会主催の「駄菓子フェス」がお昼休みを延長して開催されました。生徒たちにとって待ちに待った行事で、会場前には開場を心待ちにする長い列ができていました。
　会場には、日本から集められた駄菓子をはじめ、色とりどりのお菓子や飲み物がずらりと並び、生徒たちは目を輝かせながらお気に入りを選んでいました。どのブースでも、友達と「こんなのもあるよ」「どんな味かな」と楽しそうに話しながら、整然と列に並んで買い物をする姿が見られました。また、ゴミが多く出るイベントでありながら、会場が終始きれいに保たれていたのも印象的でした。食べ終わった後のゴミをきちんと捨てるなど、生徒一人ひとりの行動が大変立派でした。
　パビリオン中央に、保護者会の皆様が準備してくださった輪投げや的当てなどのゲームコーナーがあり、お祭りのようなにぎわいを演出していました。どのコーナーも生徒が楽しめる工夫が凝らされていました。この素晴らしいイベントを企画・運営してくださった保護者会の皆様に、心より感謝申し上げます。準備から当日の運営まで、多くのご尽力に改めて御礼申し上げます。おかげさまで、生徒たちにまた一つ、忘れられない思い出が生まれました。

授業風景より　中高SF：１年国語授業

「根拠を明確にして書こう」の単元での学びを生かし、グループごとに調査のテーマを決め、調べた内容や結果を話し合いながら、分かりやすく表にまとめました。最後には、クラス全体の前で発表を行いました。前日までの家庭学習の成果も見られ、２時間続きの国語の授業、生徒たちは集中を切らさず、意欲的に取り組んでいました。

【持ち寄った情報について話し合い、整理して書き進めています】

【↑完成した表をもとに、いよいよ前に出て発表です】

授業風景より　幼小SF：3年国語授業

「ちいちゃんのかげおくり」は戦時中の哀しいお話です。主人公の気持ちを想像し共感することはとても大切な学びです。青空に大好きな家族の姿をみつけた「ちいちゃん」。３年生もみんなで「かげおくり」をしてみました。晴れ渡った空に楽しそうな白い影がたくさん浮かんだことでしょう。体験から物語への理解が深まりました。

【ポーズをとって、10秒間、まばたきしないで自分の影をじっと見る！】

【空に自分のかげが映ったかな？】

活動風景より　幼小SJ：児童会の取組

　４校では、それぞれの児童会・生徒会活動が子どもたち主体で行われるよう、支援を続けています。幼小SJの児童会では、異学年で交流できるように、お昼休みに希望者を募り、ヤードで「じゃんけん列車」を行いました。
　子どもたちが主体となって学校生活を豊かにしようとするこうした取組は、とてもステキです。

【最初は当然バラバラです。】

【じゃんけんに負けても、最後は一つの列車になりました】